

三月は雛の月。江戸時代から続く雛人形問屋の老舗「吉徳」の御主人・山田徳兵衛氏は、倉橋惣三先生と共に、玩具教育に携った御縁からでしょう。本誌にも度々御寄稿を賜っています。また編集部が、人形はじめ羽子板の職人衆に取材を試みた折には、当代一の職人さんを紹介して下さり、そのおかげで職人衆の仕事部屋に入り込んで、どれだけ楽しい探訪が続けられたことでしょうか。かくも本誌を支えて下さった山田徳兵衛氏が、昨年の十二月二十一日に八十七歳で他界なされました。深く深く哀悼の意を捧げます。浅草橋の店を訪ねました或る折、倉橋先生の思い出話に及びました。新しい人形が出来上って、名前をつけてもらおうと、山田さんが倉橋先生に相談されたそうです。そして、二人が住んでいる地名「中野、菅野」の字をとって、「なかよし人形」が誕生したということです。

前、アメリカからの青い目の人形使節の返礼に、日本から市松人形を贈ることになった時のエピソードです。名人たちの丹念の結果、かわいらしい日本人形が生まれましたが、クレームがついたそうです。人形たちがはだしであったため、これでは失礼だというのでした。そこで急遽、人形用に小さな小さな足袋を作りはかせたというのです。それ以来、人形は足袋をはくようになつたといえます。山田徳兵衛氏は、人形、広く玩具の歴史のすぐれた研究家でもいらつしやいました。氏御自身の経験談も貴重で、書き留めておくべきものだったと悔やまれてなりません。

新春、吉徳にゆかりの腕におぼえのある職人衆は、この日のためにと腕をよりすぐって、人形製作にのぞみます。吉粋会への出品が、技の見せどころなのです。今年の吉粋会に並んだ人形は、涙が光っているではありませんまいか。(美)

幼児の教育 第八十三巻 第三号

三月号

◎ 定価三〇〇円

昭和五十九年 二月二十五日 印刷

昭和五十九年 三月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 発行人 本 田 和 子

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします

※万一製品不良品がございましたら、おとりかえいたします。